
怪傑！「珍」事件簿 第三話

セイデンワコウ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

怪傑！「珍」事件簿 第三話

【Nコード】

N8247P

【作者名】

セイデンワコウ

【あらすじ】

これは、最高裁判所判事の我輩が、磯つりに勤しんでいた頃、珍事件に下した判決の事例集である。
およそ99%がノンフィクションによるものである。

これは、最高裁判所判事の我輩が、磯つりに勤しんでいた頃、珍事件に下した判決の事例集である。
およそ99%がノンフィクションによるものである。

第三話 『夢にまで見た冠島の巻き』

この事件は、いつものメンバーが初めて「冠島」に釣行した時におこった。

この時もお決まりのメンバー3人の釣行だった。
主犯格は、佐野である。

3人は、初めての冠島に胸ふくらませ、大判を期待しながら冠島に渡礁した。

当日は、あいにくの荒れ模様、いつまで冠島で釣ができるかわからない状況であった。

そんな悪状況の中、佐野は、スズキをしとめ快調にとばしていた。さすがと言っしかなかった2人ではある。

そのとき事件は起こった。

「佐野さんたち！波が高くなってきたので場所代わってんか？」
「すぐに船に戻って！！」

船長から声がかかると、見る見るうちに波が高くなってきた。命には代えられない。あわただしく片付けをした。時間との戦いだった。
「気をつけて！早く船に飛んで頂戴！！」
と、船長の声にも緊張感が走る。

一番に小村、二番に東田と船に乗り込み、最後は佐野である。
佐野がリーダーらしく船長に声をかける。

「よっしゃ！みんな無事に船乗ったな！！船長OKです。」

「出発するで……」

何とかさんにとも命拾いをする。

3人は湾内の磯に移り、実釣を再開しようとした瞬間……

「あれ？俺の竿バツクがない！！」

佐野が一言。

「わあ 冠島に忘れてきた！！」

落胆と挫折感の混じった声が、佐野から発せられた。

冠島に置き去りにされた竿バツクは、3日間続いた大シケの波と雨にさらされ主人の帰りを待ち続けていた。しかも、天然記念物の「オオミジナキドリ」の糞を落とされながら……。

次回の釣行先を「冠島」に限定された3人は、割増料金の支払いを余技なくされ再度の挑戦となった。

もちろん、主人との再会を心待ちにしていた竿バツクは、あの鳥の糞に塗れ再起することはなかった……

判決：所有物管理法違反及び資源再生法違反

懲役3ヶ月

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8247p/>

怪傑！「珍」事件簿 第三話

2011年1月3日19時55分発行